

# 地域再生計画

## 1 地域再生計画の名称

実践！ひと・もの・自然が融合した「6次産業+1（プラス・ワン）」!!  
～地域ブランド「きんさい柳井」雇用創造プラン～

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

柳井市

## 3 地域再生計画の区域

柳井市の全域

## 4 地域再生計画の目標

柳井市（以下「本市」という。）は、山口県の南東部に位置し、内陸部のほか、瀬戸内海に面した沿岸部、半島、島しょ部からなっており、温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれた地域である。また、古くから商都柳井として栄え、柳井圏域の政治・経済・文化の中心都市としての役割を果たしている。

本市は、平成17年2月に大島町と合併し、農業と商工業を中心とした小規模都市である。平成19年2月に柳井市総合計画を策定し、人が輝く・夢が生まれる 瀬戸内のふれあい元気都市を将来都市像として掲げ各種施策を推進している。その後、平成21年3月に就任した市長のマニフェストの3つの基本政策目標「新たな雇用を創出する。」「頑張る市民の“夢”を応援する。」「将来にツケを回すのではなく、未来への投資をする。」を実現するための、具現化施策である「2009年柳井ニューディール～8つの約束～」に基づき、「柳井で暮らす幸せ」を実感できるまちづくりを推進している。

平成23年1月からは、本市の豊かな天然資源を活かした取り組みとして、優れた資源を地域ブランド「きんさい柳井」として認証し、その販売促進による地域経済活性化と情報発信による交流人口の拡大に取り組んでいる。

当市の人口は、ピーク時の42,912人（1980年国勢調査）からほぼ一貫して減少し、現在は34,730人（2010年国勢調査）となっている。また、65歳以上の人口割合は、14.5%（1980年国勢調査）から32.4%（2010年国勢調査）と高齢化も着実に進行している。

また、地域産業の担い手となる人材が不足しており、さらに、ハローワーク柳井の平成23年3月の有効求人倍率は0.59倍で、山口県平均の0.72倍を下回っている。このような厳しい雇用情勢が続いているため、本市が将来にわたって持続可能な地域経営を進めるためには、雇用の創出に取り組むことが最重要課題となっている。

そこで、地域力を高めるために、地域資源である「ひと・もの・自然」を融合させた実践型地域雇用創造事業を実施することで、地域ブランド「きんさい柳井」を確立するとともに、農林水産業・商工業・観光業の各分野への人材を育成し、障がいを持つ人も視野に入れた雇用の創出と地域経済の活性化を目指すものである。

具体的には実践型地域雇用創造事業の実施により、平成26年度までに151名の雇用創出を目標とする。

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

柳井市では、温暖多日照である気候を活かし、エディブルフラワー（食用花）等他地域にない取り組みを展開することで、地域ブランド「きんさい柳井」を推進していく。また、岩国錦帯橋空港の開港を控え、柳井地域の観光商品の作成、PRの実施を行い、観光客誘致をはかる。これらに必要な販路開拓や商品開発等に必要な人材を育成しながら事業展開をしていくことで、地域経済の活性化と雇用の創出を目指す。

## 5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし

## 5-3 その他の事業

### 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置による取り組み

#### 実践型地域雇用創造事業【B0906】

(1) 事業主体 柳井市雇用創造協議会

(2) 構成団体 柳井市、柳井商工会議所、大島商工会、南すおう農業協同組合  
山口県漁業協同組合柳井支店、大島漁業協同組合、柳井市観光協会  
大島観光協会、山口県飲食業生活衛生同業組合柳井支部  
柳井圏域社会就労支援会議、山口県柳井農林事務所  
山口県農林総合技術センター農業技術部花き振興センター

(3) 実施を希望する期間

平成24年7月1日～平成27年度3月末

(4) 行おうとする主な事業

#### I 雇用拡大メニュー

(1) 農商工観光連携セミナー

生産者、商工業者及び観光事業者を対象に、生産と消費の拡大を図るため、具体的な取り組み事例を学ぶ。

(2) 新商品開発セミナー

魅力ある商品開発は、地域経済の活性化に必要な不可欠であるが、商品は食のメニューや地域資源を有効に活用した観光資源等多岐にわたる。柳井のこだわり商品を開発するために、地域の宝を再発見することとあわせて、食・観光と連携した新たな商品開発のノウハウを学ぶ。

#### II 人材育成メニュー

(1) 花メニュー開発育成セミナー

エディブルフラワー（食用花）のメニュー開発は、基礎知識や栽培知識等専門家によるセミナーを開催し、求職者等に対して、知識や技術を習得させ、関連分野における雇用を創出する。

また、特産品等を利用したメニュー開発等についてノウハウを持つ専門家を講師として招き、求職者等に対して、食メニューや新商品開発に係る知識、技術を習得させ、関連分野における雇用を創出する。

(2) IT情報発信セミナー

インターネット活用ノウハウを有する専門家等を講師として招き、求職者に対して、基本（インターネットの基礎知識や入力方法等）から応用（ホームページやネットショップの活用方法、タブレット端末を活用した情報発信方法等）まで段階的に基本スキルを伸ばして、必要とされる人材を育成し、関連分野における雇用を創出する。

(3) 基本人材育成セミナー

会社経理で必要となる簿記資格や販売士資格等経営に必要なノウハウを持った講師を招き、資格取得を図

る。本市内の小売店等で経理のできる人材を育成し関連分野における雇用を創造する。また、販売士資格の取得者には、市内の小売店等で直接消費者に対し、特産品の販売に携わることで関連分野における雇用を創出する。

#### (4) おもてなし向上セミナー

接客技術や人材育成能力を有する専門家を講師として招き、接客業で必要となる質の高い接客技術の育成を図り、一般的な接客セミナーだけでなく、観光客向けセミナーや花や音楽等を使った接客セミナー等幅広く開催し、関連分野における雇用を創出する。

### Ⅲ 就職促進メニュー

#### (1) 就職フォローアップの開催

各種関係機関と協力し本事業を利用した事業者、求職者を対象として、就職面接会及び個別相談・見学会を実施することにより、求人・求職のマッチングを通じた就業機会の拡大と充実を行い、関連分野における雇用を創出する。

#### (2) 広報PR

協議会のホームページに就職情報やセミナーの開催情報を提供する。また、パンフレット、新聞広告等を活用し就職に関する情報提供を行い、関連分野における雇用を創出する。

### Ⅳ 雇用創出実践メニュー

#### (1) 花ブランド開発事業

柳井の温暖多日照である気候を活かしたこだわり農産物であるエディブルフラワー（食用花）各種を試験栽培する。

エディブルフラワー（食用花）等の地域の特産品を活かした食メニューや石鹸作り等の体験商品を開発し、販路を開拓する。

#### (2) 観光客誘致事業

山口県のオリジナルユリの生産増殖について関係機関と連携し、その普及及びPRし、観光客誘致に努める。

岩国錦帯橋空港開港による首都圏からの観光客誘致に向けた花ブランド商品（食メニューや石鹸作り等体験型商品等）を中心とした観光商品をPRする。

観光客や専門業者等へのモニタリング調査をふまえた、地域資源のPRマップ（食・観光ルートマップ等）を作成する。

## 5-3-2 基本方針に基づく支援措置によらない独自の取り組み

### ① 柳井市生活改善実行グループ連絡協議会補助

農産物加工品の研究・開発等の活動を行う当該協議会を支援する。

事業実施主体 柳井市

### ② 柳井市担い手育成総合支援協議会補助

農業の担い手を育成、新規就農を支援する。

事業実施主体 柳井市

### ③ 地産・地消推進事業

都市農村交流及び地産地消の推進を目的として活動している朝市グループ等を一堂に会したファーマ

ーズマーケット（直販）を開催する。

事業実施主体 柳井市

④ ニューフィッシャー確保育成推進事業

新規就業希望者に対する研修費を補助する。

事業実施主体 山口県漁業協同組合柳井支店及び平郡支店

⑤ 新商品開発調査研究事業

柳井の伝統織物柳井縞の新商品を開発する。

事業実施主体 柳井商工会議所

⑥ 郷土料理開発調査研究事業

瀬戸内の水産資源を活用した地域産業観光を促進する。

事業実施主体 柳井商工会議所

⑦ 中心市街地活性化対策事業

中心市街地の賑わいの創出を目的としたパラソルショップ等を開催する。

事業実施主体 柳井商工会議所

⑧ 柳井市地域ブランド推進事業

市内の優れた地域資源を地域ブランド「きんさい柳井」として認証し、その販売を支援するとともに、ブランド認証品の情報発信を通じて観光客の誘致を促す。

事業実施主体 柳井市地域ブランド推進協議会

⑨ 山口県東部広域観光促進事業

山口県東部地域が一体となって広域観光を促進し、観光施策の確立を図る。

事業実施主体 オレンジ城下町観光推進協議会（岩国市、柳井市、周防大島町）

6 計画期間

認定を受けた日から平成27年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

毎年度、柳井市雇用創造協議会において、アンケート調査等により雇用状況についての検証を行い、取り組みに対する評価を行う。